

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 介護と福祉の調査機関おきなわ

2019（令和元）年度

契約日	2019年 7月 9日
確定日	2019年10月29日

②事業者情報

名 称：	仁愛療護園	種 別：	障害者支援施設
代表者氏名：	新垣 武四郎	定員 (利用室数)：	76 (23) 名
所 在 地：	〒901-0619 沖縄県南城市玉城字屋嘉部200番地	TEL	098-948-1815

③総評

◇特に評価の高い点

1 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高める取り組みに率先垂範して指導力を発揮している。

施設長は、中・長期計画の中で、「人材を持って資源となす」を最重要課題と位置づけ、人材育成制度を創設して計画の実現に取り組んでいる。専門職大学院への1年間の職員派遣や資格取得助成制度の活用による職員の資格取得の促進にも取り組んでいる。サービス向上委員会を組織し、それを受けて設置された各委員会に全職員が所属して活動する仕組みを構築して、サービスの質の向上を全体で行う体制をつくり上げている。建物及び付帯設備等の環境整備として、浴室やトイレを改修し、空調設備や電気設備、ナースコールの更新等が行われている。職員の腰痛対策として電動ベットや電動昇降式入浴装置、スライディングボードの導入等にも、率先垂範して指導力を発揮している。

（関連項目：12, 13）

2 誤薬に対する対策を看護職を中心に全職員が一丸となって取り組み、誤薬ゼロを継続している。

内服薬管理マニュアルを作成し、昨年、誤薬が発生した際に、看護課会議で対応策を検討して誤薬防止対策月間を設定し、全職員に誤薬防止の研修を実施するなど服薬支援に対する意識向上に取り組んだ結果、1年以上、誤薬ゼロを継続している。

（関連項目：57）

3 個別支援計画が適切に策定され、日々の実践に展開されている。

個別支援計画書の作成に際しては、入所前のアセスメントをサービス管理責任者と看護職で実施し、入所後に担当職員や理学療法士、栄養士等がそれぞれ専門職の視点でアセスメントするとともに、利用者の意向を確認した上で多職種によるカンファレンスを実施している。サービス管理責任者は個別支援計画にもとづいた福祉サービスの実施状況を実施記録で確認し、気になる場合は現場職員に声かけをしている。個別支援計画の評価・見直しもマニュアルにもとづき、実施されている。定期的開催している個別支援計画説明会は、家族にコーヒーやお菓子等を提供して話しやすい雰囲気づくりに努め、家族の意見を計画に反映させている。

（関連項目：42, 43, 55）

◇改善を求められる点

1 中・長期計画を踏まえた単年度の計画の策定が期待される。

単年度の計画は策定されているが、中・長期計画の内容を反映させて事業内容を具体的に示し、実行可能な内容にすること、及び数値目標や具体的な成果等を設定することで実施状況の評価を行える内容にすることが望まれる。

(関連項目：5)

2 標準的な実施方法(マニュアル)の作成、及び見直しが期待される。

看護業務マニュアルや内服薬管理マニュアル等の19の看護マニュアルと、食事や入浴、個別支援計画作成・管理マニュアル等の8つの生活支援マニュアルが策定され、感染症対策等一部のマニュアルは見直しもされている。しかし、プライバシー保護やボランティア受け入れに関するマニュアル、利用者からの相談や意見を受けた際の対応や身体的拘束等権利侵害への対応に関するマニュアル、意見箱の開錠に関するルール等が確認できなかった。マニュアル委員会等で検討して策定するとともに、策定されたマニュアルについて、組織的に見直すことが望まれる。

(関連項目：24、29、36、40、41、47)

3 地域との交流について検討が期待される。

利用者の重度化や高齢化に伴い、地域との交流の機会が少なくなっている。利用者の声等も確認しながら、地域との交流について地域交流ホーム等を活用して地域住民との交流の取り組み、及び地域ニーズに応じた多様な支援活動が望まれる。

(関連項目：23)

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

当園は定期的に第三者評価を受審しており、今回で3回目の受審となります。第三者評価を受審する事は、客観的な視点・気づきを把握することに繋がりますし、施設自体のストレングスを再認識するためにも重要であると捉えています。

福祉サービスの質の向上に取り組むために、初回の受審後からサービス向上委員会を組織し全職員が各委員会に属して活動してきました。今回の受審では各委員会の成果や委員会活動が機能・定着していることを実感する事となりました。これまでの取り組みについて、その方向性が間違っていない事を各職員も実感できたと思います。

利用者本位のサービスを提供する事はもちろんですが、利用者の高齢・重度化が進む中、私たちはこれまで以上にサービスの質の向上・改善に対する取り組みの“早さ”が求められています。今回の受審で得られた課題を真摯に受け止め、利用者ひとりひとりがその人らしく生活できるように施設全体で取り組んでいきます。

⑤各評価項目にかかる第三者評価結果

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和1 年 4 月 1 日

設置・運営主体	社会福祉法人 仁愛会		
設置主体	社会福祉法人 仁愛会		
経営主体	社会福祉法人 仁愛会		
事業所名 (施設名)	仁愛療護園	種別	障害者支援施設
所在地	南城市玉城字屋嘉部200番地		
電話	098-948-1815		
Email	zinaikai@zinai.jp	URL	www.zinai.jp
施設長氏名	新垣 武四郎		
調査対応担当者	伊禮 孝	(所属、職名： サービス管理責任者)	
利用定員	定員 76(ショートステイ4床)	名	開設年 昭和 55 年 4 月 1 日
開所時間 (通所施設のみ)			

【職員の状況に関する事項】

① 職員体制

	総数	施設長	事務員	サービス管理責任者	生活支援員
常勤	名	1 名	2 名	2 名	38 名
非常勤	名	名	2 名	名	10 名
	主任介護職員	介護職員	看護師	理学療法士	言語聴覚士
常勤	名	名	10 名	2 名	名
非常勤	名	名	名	名	名
	保育士	管理栄養士	医師	調理員	その他の職員
常勤	名	1 名	名	名	2 名
非常勤	名	名	2 名	名	名

理学療法士	2 名 (名)
作業療法士	名 (名)
言語聴覚士	名 (名)
柔道整復士	名 (名)
あん摩マッサージ 指圧師	名 (名)
介護支援専門員	3 名 (名)
社会福祉士	5 名 (名)
介護福祉士	31 名 (名)
その他 ()	名 (名)

看護職＋介護職＋理学療法士＋生活指導員について

常勤職員数 58 名

非常勤職員数 14 名 (常勤換算 5名)

※計算式：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数
÷当該事業所の常勤職員が勤務すべき時間数

(非常勤職員の有資格者数は () に記入)

② 前年度職員の研修実施・派遣状況 参加人数：延べ 72 名

研修名称・主催者等
療育音楽指導者養成研修（東京ミュージックボランティア協会）、ノーリフトケアコーディネーター研修（聖路加大）、
栄養士研修会（沖縄県栄養士会）、九州サービス提供者職員研修（九州障害者支援施設協議会）、
強度行動障害支援者養成研修（大庭学園）、感染症予防対策研修（花王）、シーティング研修（関西看護ケア）

③ 常勤職員の平均年齢 47 歳④ 常勤職員の男女比 男性 33 % 女性 67 %

⑤ 期待する職員像（職員に求めている人材像や役割）

1. 利用者および家族に対して最善の日常サービスが提供出来るように考えて日常業務を行える職員、自立型の職員。
2. 福祉の専門職として、地域の皆様にアドバイスできる職員。

【サービスの内容に関する事項】

① 理念・基本方針

仁愛療護園 基本理念
私たちは、“幸せな未来” を創造します。
私たちは、“夢に向かって” チャレンジする精神を育みます。
私たちは、“今を大切に” 明るく楽しい生活を実現します。

② 本来事業に併設して行っている事業

通所生活介護、短期入所（4床）、相談支援事業

【定員及び現在の利用者の状況】

① 定員 76 名
ショートステイ定員 4 名（空床型）② 前年度の稼働率（延べ利用者数 ÷（定員 × 365日） × 100）
入所 94 % ショートステイ 0.25 %

③ 前年度の退所者数（短期入院での再入所は除く）

内訳：在宅復帰 名他の施設への入所 名（施設種別内訳：)病院への入院 1 名死亡 名その他 名

④ 平均在所期間 21 年 月

⑤ 現在の利用者

・現在の利用者数 75 名・ショートステイの現在の利用者数 4 名・男女比 男性 62.7 % 女性 37.3 %

・年齢別内訳

年齢	0-5	6-10	11-15	16-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61～
人数						3名	4名	31名	37名

・日常生活動作等の状況

	食事介助	排泄介助	入浴介助	着脱衣介助
一部介助	21	20	10	3
全部介助	39	54	65	71

・障害の程度

身体障害程度の内訳

1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	認定なし	計
63名	8名		1名				3名	75名

知的障害程度の内訳

A1	A2		認定なし	計
6名	11名		58名	75名

精神障害手帳の有無

1級	2級	3級	認定なし	計
3名	1名		71名	75名

重複障害の状況

精神＋身体	精神＋知的	身体＋知的	精神＋身体＋知的	計
3名	1名	17名	1名	22名

・車椅子を常時利用している人 97.3 %

(計算式：車椅子を常時利用している人数÷現員数×100)

・おむつ使用者 常時 72 % 夜間のみ 11 %

(計算式：常時使用者÷現員数×100、夜間のみ使用者÷現員数×100)

・人工呼吸器使用者 0 %

(計算式：人工呼吸器使用者÷現員数×100)

・身体の行動制限を行っている 17.3 % (制限理由は問わず何らかの行動制限の対象となっているもの)

(計算式：行動制限を行っている人数÷現員数×100)

・就学状況

ア)施設内学級 有 なし

「有」の場合 ⇒ 在籍者数 小学校 名 中学校 名 高校 名

イ)通学者数 小学校 名 中学校 名 高校 名

【施設の状況】

① 建物の状況

(1)建物面積	2643.0 m ²		
	入所(通所)者1人あたり 34.8 m ² (延べ床面積÷定員)		
(2)耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1 はい	<input type="checkbox"/> 2 いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1 はい	<input type="checkbox"/> 2 いいえ
(3)建築(含大改築)年	平成	1980年	

② 居室の状況

・居室数

1人部屋	2人部屋	3人部屋	4人部屋	その他
室数 2	室数	室数	室数 21	室数
設備等 収納棚	設備等	設備等	設備等 収納棚	設備等

・定員1人あたりの居室面積

762.5 m² (入所者1人あたり 8.28 m² : 居室面積合計÷定員)

・1人部屋以外の場合の間仕切りの有無 有 なし

「有」の場合 ⇒ カーテン 家具 その他()

【苦情対応】

窓口設置 あり なし

第三者委員の設置 あり なし

【サービスの提供内容に関する特色等】

①健康管理

協力病院有り、施設内回診:内科嘱託医1回/週、整形嘱託医1回/月
 定期健康診断 2回/年実施。
 経管利用者(寝たきり)への看護師による口腔ケアの実施。
 受診時の対応は施設職員による送迎・付添い有り。看護師が24時間配置されている。
 インフルエンザ予防接種の実施(費用は施設負担)。
 必要に応じて看護師による勉強会(感染症対策、疾病理解や対応方法について)

②食事

	時間帯	場所	備考
朝食	8:00～9:00	食堂ホール	
昼食	12:00～13:00	食堂ホール	
夕食	17:00～18:00	食堂ホール	

・感染症対策時や不穩時の利用者個別対応として、各棟ホールや居室で食事提供することがある。
 ・平成31年2月より、厨房業務を“日清”へ業務委託することとなった。
 ・行事食は利用者へ希望メニューの聞き取りを行い実施。
 季節の花木や音楽等行事に合った雰囲気づくりを行っている。
 ・食事は摂取量が下がらないように利用者の歯・嚥下・食思等を職種間で共有、意見交換を行い食形態の変更等に対応している。
 ・残渣調査は全体で重量計量、特に多く残っているメニューにはマーカでチェックをしている。
 個別では下膳時に0～10割摂取に振り分けシステムに入力。その際、主食のみ食べた、家族より差し入れがあり欠食等特別な場合には、その旨ケース記録の入力を行っている。

③地域との交流

保育園の子供たちとの交流。

④施設の公開・見学 前年度（平成 30 年度）

専門学校生や福祉施設関係者、入所希望者へ公開・見学を行っている。

⑤ボランティアの受入

・平成 30 年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数） 8 名

Well 専門学校（海水浴）

⑥実習生の受け入れ

・平成 30 年度における実習生の受け入れ数（実数） 12 名

大庭学園（2名）、アカデミー専門学校（5名）、沖縄リハビリ専門学校（3名）、沖縄大学（2名）

⑦行事等実施状況（散歩、買い物、季節のイベント等）

※年間行事予定表を添付

1人あたりの平均的な外出回数 4～5 回/年（平成30年度）

【授産事業の状況】

① 授産事業(印刷封入、喫茶等)

--

② 年間授産収益及び工賃支給状況(前年度実績)

	金額	対前年比
授産収入総額		
工賃支給総額		
1人あたり工賃平均支給額		
最高支給額		
最低支給額		

【料金】利用者負担金以外の利用料

内容	利用者預り金	(1000 円/月)
内容	利用者預り金(現金)	(2000 円/月)
内容		(円/月)

【評価を受審するに当たり、評価機関に知っていて欲しいこと】

経営層が考えていること、利用者の状況、職員の状況、評価の着眼点にない独自の取り組み・工夫などを自由にご記入下さい。

1、理念・基本方針の確認

2、期待する職員像

3、経営環境の変化への対応

4、サービス提供の考え方

5、力を入れて取り組んでいること

職員の資質向上 ①介護福祉士、正看護師、社会福祉士等関連資格取得に対する助成
②日本社会事業大学大学院（福祉マネジメント研究科）派遣

6、サービスの維持・向上への取り組み

7、サービス利用者からの意見の聴取